

## 基本構想・基本計画（中間案）に対する市民意見の概要

### 『中間案全体』

- ・全体の方向は賛同。・基本構想と基本計画の全体構成は賛同。・簡潔な言葉で流れが分かるように。
- ・基本構想と基本計画の各章のつながり、関係性が分かりにくい。・市民が希望を持てるメッセージを。
- ・財政的観点が不足。・実効性の確保が大切。・自己改革は進めるべき。

### 『基本構想』

#### <市民力>

- ・市民力の強調は良い。・市民が主体となることが重要。・市民の心の活性化を。
- ・市民力が分かりにくい。・課題認識等から必要性、重要性を導く記載に。・行政の責任転嫁では。

#### <都市像>

- ・4つの都市像は適切。「学びの都」が第1なのはよい。・都市像の下の記事にばらつきあり。
- ・「ひとが輝く杜の都」と4つの都市像の関係性が不明。・構想では目指すべき姿のみを記述すべき。
- ・市民が希望をもって暮らせる持続可能な成熟都市づくりを。
- ・都市間競争の時代に選ばれる都市へ。・仙台圏や東北の中心都市。
- ・幸福の尺度が物から心へ移る中、ボランティア都市を。・安心できる社会を。
- ・温かみのある緑豊かな安らぎの街を。・美しく人にやさしい魅力的なまちを。

### 『基本計画』

#### 第1章 総論

- ・総論の記載内容が薄い。・目的や時代認識と課題、構成などを明らかに。・10年後の大まかな姿を。
- ・重点にしている理由や、重点・分野別・区別の関係性を分かりやすくすべき。・具体性に欠ける。

#### 第2章 重点的な取り組み

- ・重点化は重要。・重点とする理由や位置づけを。・分野別との重複の整理を。・名称・内容の工夫を。

#### 「重点政策」

##### <学びを創造につなげる都市づくり>

- ・学びを創造につなげる政策は重要。・学びは街づくりに重要。・学びの成果を発揮できる場を。
- ・ミュージアム都市に賛同。・メディアテークの文化情報発信の拡大。・歴史観光の促進。

##### <支え合う社会づくり>

- ・子供たちが健やかに育ち高齢者が安心して暮らせるまちづくりを。
- ・介護・子育ての支え合いを。・適切な負担とセーフティネットを。

##### <都市のデザイン>

- ・市街地の拡大を計画的に抑制し発展と集約のバランスを。・都市軸の定義を明確に。
- ・東西線を活用する視点を強く打ち出すべき。・幅広い学術文化拠点の形成を。
- ・都市空間構造の仙台らしさを充実・深化すべき。・仙台駅周辺の交通改善を。
- ・都市軸にない地域の利便性の向上も大切。・環境の視点をもっと盛り込むべき。

##### <賑わい・活力づくり>

- ・新しい魅力・活力づくりを。企業誘致・内発型産業振興・新ビジネス開拓の推進で雇用・収益増を。
- ・交流人口の拡大を。・仙台空港やJR仙台駅のイメージづくり。・観光・コンベンション機能強化。

#### 「経営方針」

##### <地域>

- ・地域自立の基盤となる自ら考え決定し実践する住民自治を。・地域が自ら選択する主体性が大事に。
- ・町内会等の地域団体の活性化。・地域住民や地域団体のつながり・連携・交流を。
- ・世代間交流の拡大を。・地域学習の拠点を。・地域のコンシェルジュを市民センター等が担うべき。
- ・住宅団地の高齢化・空洞化などに組織横断的に取り組むべき。・区役所の権限強化、役割の明確化を。

#### <市民力>

- ・市民力のプロデュース、つなぎ、支援が大切。・必要な情報発信を。・官民協働事業を促進すべき。
- ・市民力の育成や行政のコーディネート力が重要。・企業の社会貢献・マネジメントが重要。
- ・市民力育成のための専門家支援、ボランティア大学などの仕組みを。・新しい公共の拡大。
- ・学生・企業・NPOも力に。・市民力と市役所、市議会の役割を明確に。・学校教育との連携を。
- ・市民力を調整する仕組みが必要。・市民が意思決定過程や事業実施に参加できる機会を。

#### <公共施設の経営改革>

- ・公共施設の経営改革は重要。・民間施設も含めた地域資源のリノベーションも。
- ・公共施設の利用率向上の方法を。・公共施設の配置計画を。

#### <市役所の自己変革>

- ・財政の健全化を。・財源を明確にして優先順位を議論すべき。・選択と集中を。
- ・行政の透明性・情報公開の拡充を。・都市像や方向を分かりやすく情報発信を。
- ・市役所がすべき仕事、する必要のない仕事を整理すべき。
- ・組織は横断的に。・市役所内部の連携を。・県や近隣市町村との交流・連携を。
- ・地域経営・都市経営の発想の転換を。・市民ニーズ反映の仕組みづくりを。
- ・市民主体のまちづくりは市民が払う税金の枠内で進め、納税者としての自覚を促すべき。

### 第3章 分野別計画

- ・都市像との関係が分かりにくい。・レベルが合うように。
- ・宮城県沖地震や局所的豪雨などの災害・防災対策を充実強化すべき。
- ・高齢者の介護施策・地域包括ケア・居住環境改善・一人暮らし対策・社会参加などの充実。・高齢者が自立して生活でき、役割を持ち続けるための配慮を。
- ・障害者制度改革の推進を。・家族負担の軽減を。・地域医療の充実を。
- ・子育て支援の充実。・待機児童問題の解決。・児童虐待対策の充実。
- ・男女共同参画社会づくりを。・女性へのあらゆる暴力の根絶。
- ・杜の都にふさわしい美しく緑豊かな都市空間づくりを。・地域の公園・緑地は面積拡大でなく地域の核として共通の利用・体験ができる地域共有空間へ。・自然資源の活用。・広瀬川の利活用。・市街地に水辺の空間。・梅田川流域・蒲生干潟の活用。・緑地・森林の保全。
- ・風格ある景観をつくるため歴史と文化を大切に作る風土を。
- ・内発型産業育成の強化。・地域産業人材の育成を。・地域商店街の活性化。
- ・農業の振興・担い手育成。・農商工連携を。・滞在型農業体験や市民農園利用促進。
- ・水族館を。・自然豊かな郊外地を観光スポット化して地域活性化を。
- ・国際化は積極的に。外国人向けサービスの拡充。・全国・海外への魅力の発信力の強化。
- ・歩きやすく憩いやすい道路整備を。・幹線道路の早期開発を。
- ・公共交通の運賃制度を工夫すべき。・市民の足の交通の情報発信強化を
- ・情報通信基盤の有効な利活用。・教職員の資質向上。

### 第4章 区別計画

- ・都市像や分野別計画との関係性を。・区別計画の充実に賛同。・区独自でよいが表現等を統一すべき。
- ・仙台北さには各区の地域性や特性を勘案することが必要。・区域を越える課題への視点も必要。
- ・「市民力」の記述が薄い。

### 第5章 総合計画の推進に向けて

- ・適切な目標管理・評価、市民参画の仕組みにより実効性の確保を。
- ・財政計画との整合を。

\* 以上の分類は便宜的に整理したもの。